

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第112回『新しい春の訪れに・・・』

こころの相談員 小林 節子

新入学、進級の季節となりました。わが子が新しい環境になじめるかどうか、保護者としては心配ですよ。泣いたり、ぐずったりして行き渋りを見せたり、元気に通っていても、「今までそんなことしなかったのに…」「自分でできていたのに、どうしてできなくなったの？」など、今までと違った姿を見せたりします。

心配のあまり、つい「何して遊んだの?」「友だちできた?」「勉強、わかった?」など、子どもを質問せめにしてしまったり、イライラして叱ってばかりになったり、注意を繰り返しがちになりますよね。

環境への適応力やスピードは、子どもによって千差万別です。家庭の環境、子どもの気質、心身の発達の度合い、経験の違いなど、いろいろな要因が影響するものです。

また、緊張や不安をうまく言葉で表現することのできない子も多く、心の問題が、身体の不調や過度の甘え、親やまわりの者への攻撃的な態度などとなって現れたりすることもあります。これは、『子どもの心のサイン』として捉えてください。ただし、何もかもが「子ども心のサインかしら」と、過度に神経質になったり、不安になる必要はないかもしれません。

保護者の方が、わが子を信じて、ゆったりと構えてかかわることが、何より子どもの心の支えになると思います。ご心配なことがあれば、一人で迷ったり悩んだりせずに、「園や学校の先生、相談員」に相談してください。

あさひ園には「こころの相談員」、朝日小、中学校には「こころの相談員」、「スクールカウンセラー」が在任しています。また子育て健康課事業として、育児相談、すくすく相談（言葉の相談）、のびのび相談（発達相談）があり、「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」もご相談に応じます。家庭、園、学校等の相談機関のそれぞれの先生方が、お子さんへの対応の仕方や、支援の方法を指導してくれます。話を聞いてもらうだけでも保護者自身も安心できるのではないのでしょうか。

すべての子どもたちは、私たちの『未来への希望』です。朝日町の保護者の方々、先生方、そして地域の方々の、あたたかい『愛と励まし』、『優しい言葉がけと見守り』で、子どもたちが、それぞれの個性を輝かせ、《自分も他者も愛せる子》に育つことが出来ますように祈っています。

※小林相談員は、あさひ園・育児相談で相談活動を行っています。

3月活動報告

3/15（日）福祉感謝祭

あさひっ子クラブがおかしつりゲームとバザーを出店しました。

